

ごみ焼却施設の維持管理の情報

平成30年度(2018年度)

単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	基準	
処分した一般廃棄物の種類および数量									
可燃ごみの焼却量	t	1号炉	5,279.83	1,469.51	3,082.07	5,426.63	5,428.74	5,124.13	
		2号炉	5,317.53	5,458.25	5,271.90	600.66	4,156.05	5,151.66	
		3号炉	2,666.81	5,454.63	5,267.69	5,455.11	5,456.94	2,944.97	
燃焼ガス等に関する記録									
燃焼ガスの温度	℃	1号炉	1040	1028	978	997	1010	997	800 以上
		2号炉	995	990	987	997	968	967	
		3号炉	993	970	962	955	970	960	
集じん器入口の温度	℃	1号炉	161	160	158	160	161	159	200 以下
		2号炉	164	164	165	165	163	161	
		3号炉	165	165	167	168	168	164	
一酸化炭素濃度	ppm	1号炉	3	3	3	3	3	2	100 以下
		2号炉	2	2	3	3	3	2	
		3号炉	2	1	2	1	2	2	
ばいじんの除去を行った日	—	1号炉	付属機器による除去 (ガス冷却設備:ボイラーストブロワで毎日実施 ろ過式集じん器:空気式自動洗浄装置で毎日実施)						
2号炉									
3号炉									

単位		10月	11月	12月	1月	2月	3月	基準	
処分した一般廃棄物の種類および数量									
可燃ごみの焼却量	t	1号炉	3,695.22	5,248.45	4,616.00	2,920.11	4,908.13	5,309.88	
		2号炉	3,695.85	5,251.48	4,634.39	3,843.19	3,789.23	5,311.62	
		3号炉	1,331.69	5,275.50	4,810.73	4,683.21	3,330.22	5,299.69	
燃焼ガス等に関する記録									
燃焼ガスの温度	℃	1号炉	1029	1038	1032	1015	1013	1008	800 以上
		2号炉	986	988	980	992	992	992	
		3号炉	948	988	988	990	986	979	
集じん器入口の温度	℃	1号炉	161	161	161	162	163	162	200 以下
		2号炉	164	163	163	164	165	165	
		3号炉	163	164	165	165	165	165	
一酸化炭素濃度	ppm	1号炉	3	3	2	2	2	2	100 以下
		2号炉	3	2	2	2	2	2	
		3号炉	3	3	2	2	2	2	
ばいじんの除去を行った日	—	1号炉	付属機器による除去 (ガス冷却設備:ボイラーストブロワで毎日実施 ろ過式集じん器:空気式自動洗浄装置で毎日実施)						
2号炉									
3号炉									

煙突から排出される排ガスの測定結果

	単位		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	排出基準
採取日	—	1号炉	H30.4.10	H30.6.19	H30.9.11	H30.10.4	H30.12.18	H31.2.25	/
		2号炉	H30.4.12	H30.6.11	H30.9.12	H30.10.4	H30.12.18	H31.2.26	
		3号炉	H30.5.22	H30.6.11	H30.8.29	H30.11.14	H30.12.21	H31.2.27	
計量証明発行日	—	1号炉	H30.4.20	H30.7.2	H30.9.21	H30.10.16	H31.1.15	H31.3.8	
		2号炉	H30.4.24	H30.6.22	H30.9.21	H30.10.16	H31.1.15	H31.3.8	
		3号炉	H30.6.4	H30.6.22	H30.9.11	H30.11.16	H31.1.15	H31.3.8	
硫黄酸化物	Nm ³ /h	1号炉	0.052	<0.016	<0.015	<0.017	<0.017	<0.017	K値規制 ^{※1}
		2号炉	<0.016	<0.015	<0.015	<0.018	<0.015	<0.016	
		3号炉	<0.017	<0.017	<0.016	<0.016	<0.017	<0.017	
ばいじん ^{※2}	g/Nm ³	1号炉	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
		2号炉	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
		3号炉	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化水素 ^{※2}	mg/Nm ³	1号炉	<0.5	0.7	0.9	1.4	1.8	<0.5	700
		2号炉	<0.5	0.7	0.7	<0.5	0.8	0.5	
		3号炉	0.6	1.1	1.9	<0.5	1.4	<0.5	
窒素酸化物 ^{※2}	ppm	1号炉	17	14	13	16	17	14	250
		2号炉	14	17	19	19	25	20	
		3号炉	19	8	15	15	18	17	

※1 硫黄酸化物の排出量は、地域ごとに定められた係数(K値)と、煙突の有効高さ等によって規制されており、K値が小さいほど排出規制も厳しくなります。

豊中市のK値は1.17で、排出規制値は5.0Nm³/h(届出排出ガスより算出)です。

濃度に換算すると、およそ110ppmです。

※2 ばいじん濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度については、酸素濃度(12%)換算値

ダイオキシン類にかかる測定結果

	採取日	計量証明発行日	測定結果	排出基準
1号炉	H30.6.19	H30.8.3	0 ng-TEQ/Nm ³	0.1 ng-TEQ/Nm ³
2号炉	H30.6.11	H30.8.1	0 ng-TEQ/Nm ³	
3号炉	H30.6.11	H30.8.1	0.000079 ng-TEQ/Nm ³	
下水放流水	H30.7.2	H30.8.21	0.000036 pg-TEQ/L	10 pg-TEQ/L

▽ <測定値 : 定量下限値(正確に定量測定ができる最低濃度)未満を表しています。

▽ 酸素12%換算 : 関係法令により規制されている、酸素濃度12%の状態に換算した濃度を示しています。

▽ m³N(立法メートルノルマル) : 0°C1気圧の状態に換算した気体の体積を表す単位です。

▽ TEQ(毒性等量) : いちばん毒性の強いダイオキシン2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-ジオキシンの毒性を1として換算した値を示しています。

▽ 排出基準値 : 大気汚染防止法、下水道法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づいており、届出に用いた値から算出した値を示しています。